



エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度
運用期間: 令和5年8月～令和6年7月

令和6年9月1日発行

株式会社ヒロナカ



ご挨拶

平素よりお世話になっております。

当社は今年で創業32年を迎えることが出来ました。ここまでやって来れたのも、ひとえに取引先や地域のお客様から頂いた信頼と信用の賜物と思います。本当にありがとうございます。

近年では脱炭素化に向け中小企業も努力をしていかなければならないと状況に於かれていることを考えれば、これまで継続してきたエコアクションを活用しSDGs(持続可能な開発目標)に沿った目標を設け次の時代への舵を切っていこうと考えます。



株式会社ヒロナカ

代表取締役 廣中 泰三

環境経営レポート目次

1	会社概要、組織図、対象範囲	2・3
2	事業所の概略	4・5
3	環境経営方針	6
4	環境経営目標と実績、および、環境経営中期目標	7
5	主な環境経営計画	8
6	環境経営計画(取組)の実施状況とその評価	9～14
7	次年度の環境経営目標および環境経営計画	15
8	環境関連法規等の遵守状及び違反、訴訟等の有無	16
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	17

1-1 会社概要

会 社 概 要

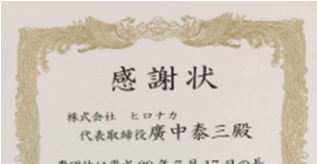
会 社 名	株式会社 ヒロナカ			
代 表 者 氏 名	代表取締役 廣中泰三			
所 在 地 及 び 連 絡 先	〒752-0997	山口県下関市大字前田429-3		
	TEL	083-249-6188	FAX	083-249-6166
	e-mail	info@hironaka.co.jp	H.P	www.hironaka.co.jp
事 業 年 度	9月1日～翌年8月31日			
事 業 内 容	電気・管・消防設備工事及び住宅設備の企画・設計・施工			

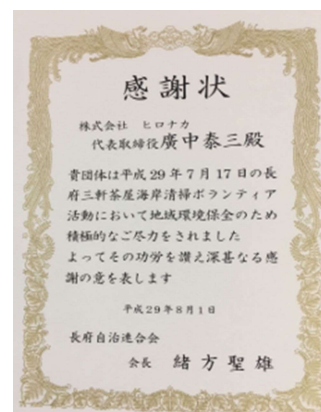
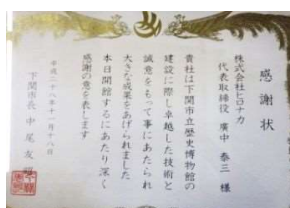
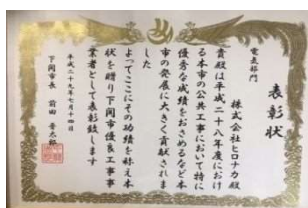
環境管理責任者・EA21事務局及び対象範囲

環 境 管 理 責 任 者	吉村 享祐	e-mail	yoshimura@hironaka.co.jp
E A 2 1 事 務 局	廣中 一美	e-mail	soumu@hironaka.co.jp
	Tel083-249-6188	fax:083-249-6166	
対 象 範 囲	全組織・全活動 建物建築及び住宅設備の企画・設計・施工 本社		

事 業 規 模

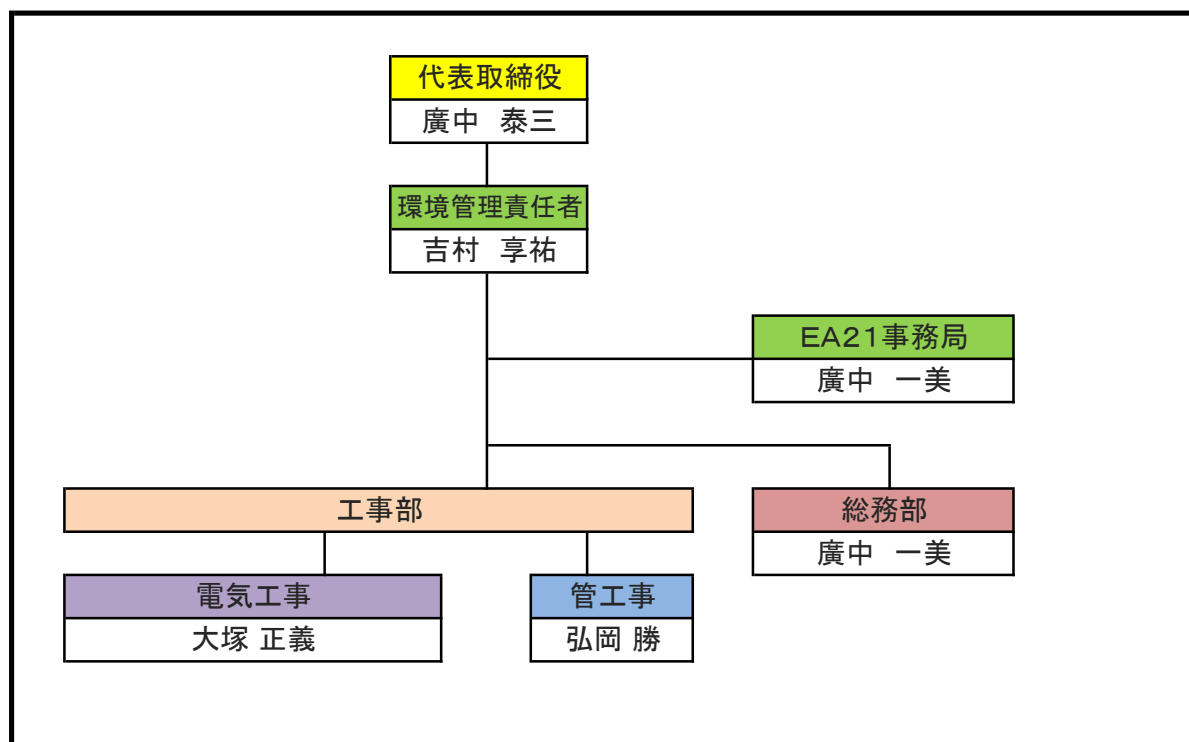
設 立	1991年12月1日		
法 人	1992年1月24日		
売 上 高	1億8000万円	(2021年8月～2022年7月)	
(直近3年)	2億6500万円	(2022年8月～2023年7月)	
	2億8500万円	(2023年8月～2024年7月)	
資 本 金	2,000万円	(2017年 12月増資)	
工 事 等 件 数	147件		
従 業 員 数	13人		
敷 地 面 積	1,682㎡		
事 業 実 績	令和3年中国電力株式会社下関発電所安全表彰 令和3年中国電力株式会社下関発電所安全表彰 平成29年度下関市電気設備工事部門優良表彰		





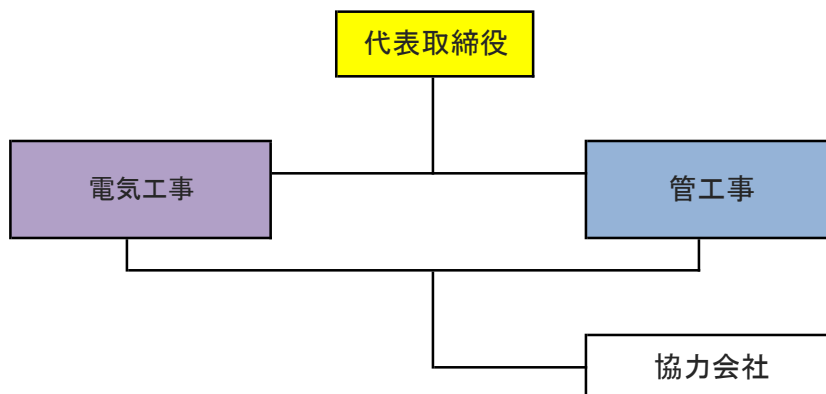
1-2 組織図

①会社組織図



.....エコアクション21認証・登録する対象範囲
全組織・全活動

②現場組織図



【役割分担表】

氏 名	所 属	内 容
廣中 泰三	代表取締役	① 全体統括 ② 環境方針の策定 ③ 取組を実施するための資源準備 ④ 全体の評価と見直し
吉村 享祐	環境管理責任者	① 全体の把握 ② 環境管理システムを構築、運用 ③ システム状況を社長に報告する。
全社員	工事・総務部	① 文書及び記録類の作成 ② 文書及び記録類の維持 ③ 文書及び記録類の管理 ④ 環境活動実施
廣中 一美	EA21事務局	① 関連法規順守確認 ② 廃棄物の排出量管理(データ入力) ③ 電力、ガソリン、軽油使用量管理。

2 事業所の概略

許可・認証内容

特 定 建 築 業 許 可	山口県知事許可(特-1)第16812号 令和元年 8月6日～令和6年 8月5日 電気工事業 管工事業
許 可 内 容	
一 般 建 築 業 許 可	山口県知事許可(一般-1)第16812号 令和元年 8月6日～令和6年 8月5日 土木工事業
許 可 内 容	
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可	第03500177822号 令和元年 7月 7日～令和6年 7月6日 紙くず・ガラス・がれき類・木くず・金属くず・廃プラ
許 可 内 容	
積 替 ・ 保 管	無 自社運搬のみ
第 1 種 フロン 類 充 填 回 収 業 者	第1-400号 2022年5月28日～2027年5月27日
許 可 内 容	エアコンディショナー CFC HCFC HFC 冷蔵・冷凍機器 CFC HCFC HFC
エ コ ア ク シ ョ ン 2 1 認 証	認証・登録番号0003040 2020年11月 5日～2024年11月 4日
上 下 水 道 局 指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者	
給 水 設 備 指 定 店	1. 下関市 第280号平成23年 6月 3日～令和10年9月29日 2. 宇部市 第226号平成24年 6月12日～令和10年9月29日 3. 山陽小野田市 第155号令和元年 4月 1日～令和10年9月29日
排 水 設 備 指 定 店	1. 下関市 第138号令和5年 4月 1日～令和10年 3月31日 2. 宇部市 第238号令和5年 4月 1日～令和10年10月31日 3. 山陽小野田市 第 90号令和5年 4月 1日～令和10年 3月31日

技術者資格内容

工 事 部 (電 気)	1級電気工事施工管理技士 2級電気工事施工管理技士 第1種電気工事士 第2種電気工事士 冷媒回収技術者
工 事 部 (管)	1級管工事施工管理技士 給水装置工事主任技術者 排水設備工事責任者 2級土木施工管理技士
総 務 部	福祉住環コーディネーター

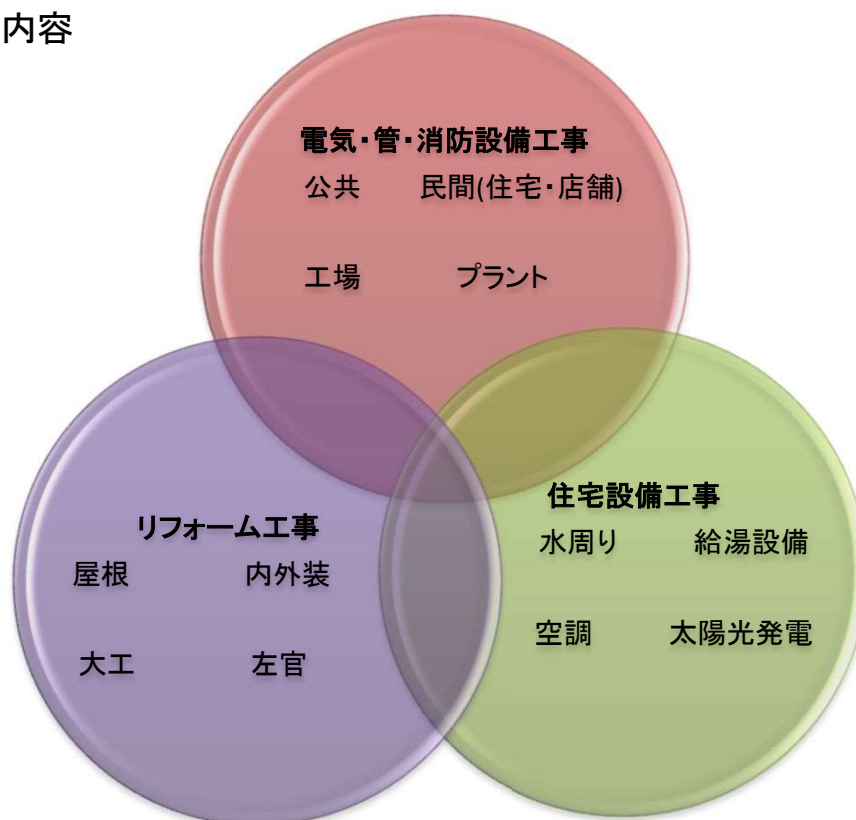
講習修了内容

工 事 部 (電 気)	作業主任者技能 職長等教育 労働安全衛生特別教育 車両系建設機械運転技能 高所作業車運転技能 ゴンドラ特別教育 小型移動式クレーン運転技能 高圧ケーブル工事技能 石油機器技術管理士資格 ガス溶接技能 自由研削といし取替等業務特別教育 アーク溶接等業務特別教育 ガス可とう管接続工事監督者 玉掛技能 住宅用太陽光発電施工研修
工 事 部 (管)	労働安全衛生特別教育 小型車両系建設機械運転教育

施工対応エリア

電 気 工 事	山口県 ～ 福岡県
A L L 電 化	下関市 ～ 宇部市
太 陽 光	山口県 西部
管 工 事	山口県 西部

事業活動の内容



3 環境経営方針

基本理念

わたくし達、社員一同は、下記に掲げる行動指針を定め実行し、地球環境問題に貢献していく事業活動を行います。

行動指針

- 1 工事、運搬、材料調達などのあらゆる段階において、環境負荷の低減に努めます。
- 2 地域の環境保全と負荷の削減・継続的改善のために下記事項を行います。
 - 1) 廃棄物の分別及び排出量の削減に努めます。
 - 2) 資源の有効活用に努めます。
 - 3) 二酸化炭素の排出抑制に努めます。
 - 4) 節水に努めます。
 - 5) 工事等、環境に配慮した設計・施工計画に努めます。
 - 6) 化学物質使用量の徹底管理・削減に努めます。
 - 7) 地球環境保全に貢献できる活動に努めます。
- 3 環境経営方針を確実に実践するために、環境経営目標を定め、これを達成するための環境経営計画を作成し、実行し、結果を確認し、見直しにより循環型社会形成を目指し、環境経営の継続的改善を行います。
- 4 環境経営方針は、全従業員に周知徹底を行い、求めに応じ開示します。
- 5 事業活動に関する環境関連法規を遵守します。

改定日

令和元年 8月 1日

株式会社ヒロナカ

代表取締役 廣中 泰三



SDGs(持続可能な開発目標)の取組を開始。
自社が事業とSDGsを統合することで社会貢献活動
を推進して参ります。



4 環境経営目標と実績、および、環境経営中期目標

2023年度(令和5年度)の環境負荷の削減目標、および削減目標に対する実績は以下の通りです。

各項目の削減目標を、売上高の変動を考慮し、原単位(売上高100万円当たり)の数値を主な削減目標としました。

電気のCO2排出係数(調整後排出係数)は、2021年度中国電力株式会社 0.536Kg-CO2/kWhを使用

達成率	90%以上:◎	80%以上:○	60%以上:△	60%以下:×
-----	---------	---------	---------	---------

1. 現場

2023年度の期間

: 8月～翌年7月

項 目	単位	2019年基準年度 (売上250百万円)		2023年度(売上285百万円)			2024年	2025年
		実績 数量	原単位	原単位目標 4%減	実績	原単位	原単位目標 5%減	原単位目標 6%減
CO2排出量	Kg-CO2/年	32,875	131.6	126.3	28,739	100.8	125.0	123.7
ガソリン	ℓ/年	12,195	48.8	46.8	9,216	32.3	46.4	45.9
軽 油	ℓ/年	1,772	7.1	6.8	2,845	10.0	6.7	6.7
産業廃棄物	リサイクル率	t/年 6.62	リサイクル率 81.9%	リサイクル率 85.2%	リサイクル率 100.0%		リサイクル率 86.0%	リサイクル率 86.8%

2. 事務所

項 目	単位	2019年基準年度 (売上250百万円)		2023年度(売上285百万円)			2024年	2025年
		実績 数量	原単位	原単位目標 4%減	実績 数量	原単位	原単位目標 5%減	原単位目標 6%減
CO2排出量	Kg-CO2/年	10,006	40.0	38.4	4,951	17.4	38.0	37.6
電気使用量	kWh/年	11,736	47.0	45.1	4,700	16.5	44.6	44.1
ガソリン	ℓ/年	1,095	4.4	4.2	1,047	3.7	4.2	4.1
一般廃棄物	Kg/年	136	0.54	0.52	126	0.44	0.52	0.51
水の使用量	m ³ /年	28	0.11	0.11	37	0.13	0.11	0.11

3. 全体

項 目	単位	2019年基準年度 (売上250百万円)		2023年度(売上285百万円)			2024年	2025年
		実績	原単位目標 4%減	実績	達成率		原単位目標 5%減	原単位目標 6%減
CO2排出量	Kg-CO2/年	42,881		33,690	139.4%	◎	163.0	161.3
	原単位	171.6	164.7	118.2				
電気使用量	kWh/年	11,736		4,700	273.4%	◎	44.6	11031.8
	原単位	47.0	45.1	16.5				
ガソリン	ℓ/年	13,290		10,263	141.8%	◎	50.5	50.0
	原単位	53.2	51.1	36.0				
軽 油	ℓ/年	1,772		2,845	68.2%	△	6.7	6.7
	原単位	7.1	6.8	10.0				
一般廃棄物	Kg/年	187		126	216.7%	◎	0.95	0.94
	原単位	1.0	0.96	0.44				
産業廃棄物	t/年	8.08		2.7	◎	リサイクル率 90%以上	リサイクル率 90%以上	リサイクル率 90%以上
	リサイクル率	80.0%	90%以上	100.0%				
水の使用量	m ³ /年	28		37	82.9%	○	0.11	0.11
	原単位	0.11	0.11	0.13				

* 化学物質の使用量は少ないため、化学物質に係る目標は掲げず、適正管理をします。

項 目	単位	2019年 基準年度	2023年度(売上285百万円)			2024年	2025年
		実績	目標	実績	達成率	目標	目標
環境保全活動	活動回数	5	6	5	83%	積極的推進	積極的推進

5

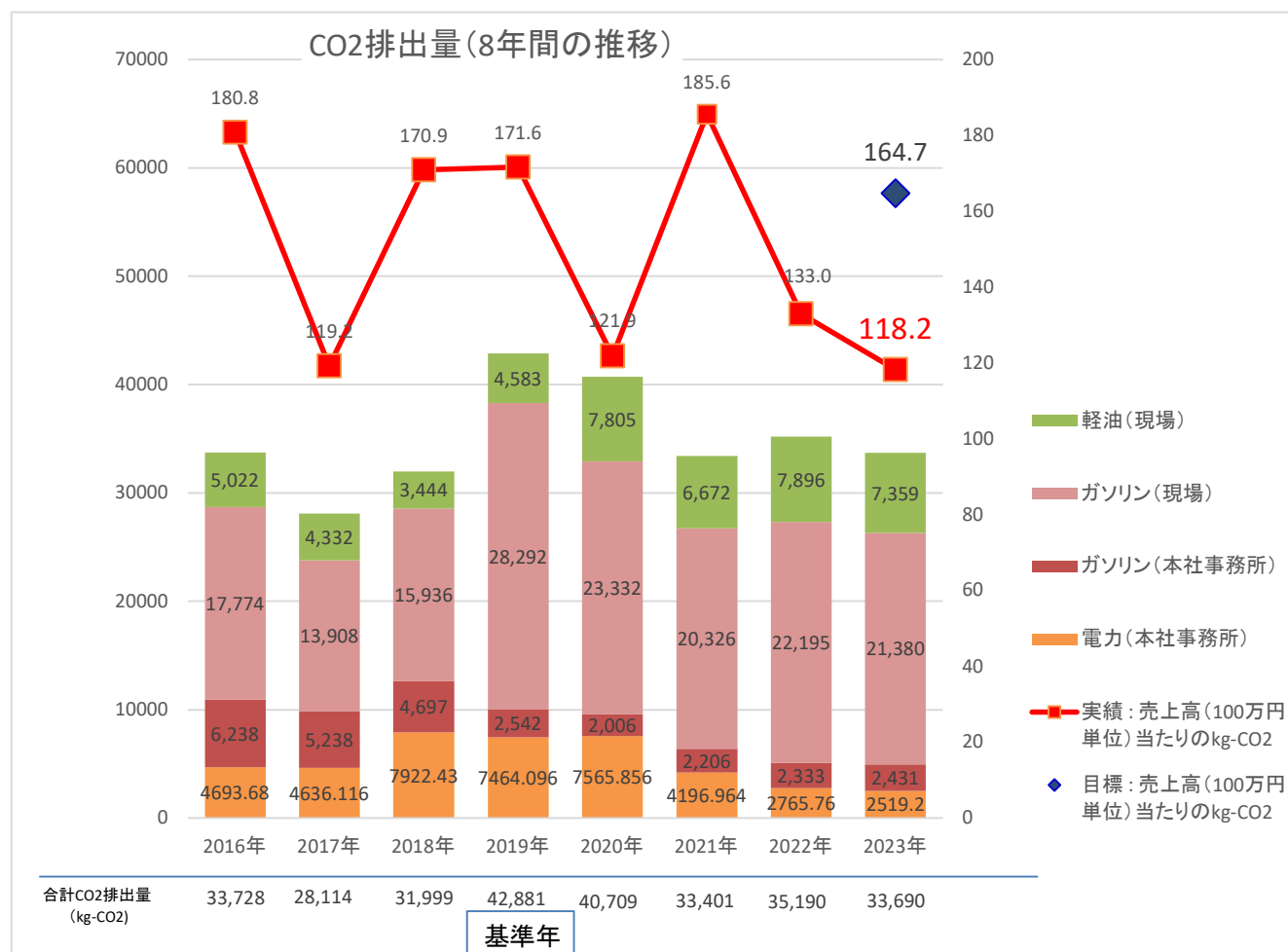
主な環境経営計画 ～2023年度～

取組項目	活動内容
CO2排出量削減	(1)電気使用量の削減 ① 空調温度の管理(冷房28度、暖房24度) ② 不要な電気、電源のOFF管理 ③ PCの省エネ電源の設定 (2)ガソリン・軽油使用量の削減 ① エコ運転の徹底 ② 重機、トラックのエコ運転の講習 ③ 作業車、重機、トラックの点検整備の徹底 ④ 適切な工程管理による燃料使用量削減 ⑤ 搬入経路、運搬経路の検討による燃料使用量削減
一般廃棄物排出量削減	① 印刷用紙の再利用(裏紙印刷やメモ用紙) ② ファイルの再利用 ③ 書類のデータ化によるペーパーレスの推進 ④ エコバック持参によるビニール袋の削減
産業廃棄物排出量削減	① マニフェストの確実な交付と適正管理 ② 再生資材の利用や、リサイクルの推進 ③ 分別の徹底 ④ 電線やケーブルの導体と絶縁体の分離による分別 ⑤ 設計や計画の最適化によるムダの削減
水使用量削減	① 水道管からの漏水点検 ② 節水の表示
化学物質の管理	① 使用する化学物質の変更 ② PRTR法対象の化学物質であるフロンガスの放出禁止
環境保全活動	環境活動 ①海岸のゴミ拾い ②道路の清掃 ③エコキャップ集め ④グリーン商品の購入 環境保全 ① 低騒音・低振動型建設機械を使用し、開始前点検を行う。 ② 環境配慮型の設計や施工を行い、環境負荷の低い資材や機器を選択 ③ 太陽光発電と蓄電池でCO2排出量の削減、および災害時のレジリエンス強化

6 環境経営計画(取組)の実施状況とその評価

CO2排出量削減

※対象期間 8月～翌年7月



- ※ 2018年 9月 事務所移転
- ※ 2021年 10月 太陽光発電 新規導入
- ※ ハイエース導入(多人数遠方移動用)
- ※ フォークリフト導入

中国電力CO2排出係数

2016年～2018年 0.738(kg-CO2/kWh)
 2019年～2021年 0.636(kg-CO2/kWh)
 2022年～2023年 0.536(kg-CO2/kWh)

CO2排出量 (kg-CO2)	目標値【2019年度より4%削減】		
	目標	実績	達成率(%)
原単位(100万円単位) (kg-CO2)	164.7	118.2	139.3%
			◎

原単位目標達成率	
90%以上	◎
80%以上	○
60%以上	△
60%以下	×

総合評価

2022年度から目標値を売上当たりの原単位での計算で設定いたしました。売上当たりでの過去7年間の推移では基準年度である2019年度よりも削減することが出来ました。理由としては全員の意識改革ができたことが主な要因と言えます。また、自社での安全運転講習や、節電行動のマニュアル化、作業手順や工程管理の確認に時間をかけて効率的に作業を進める事ができました。来年度も継続して全体的な削減のための取組を行います。

電気使用量削減

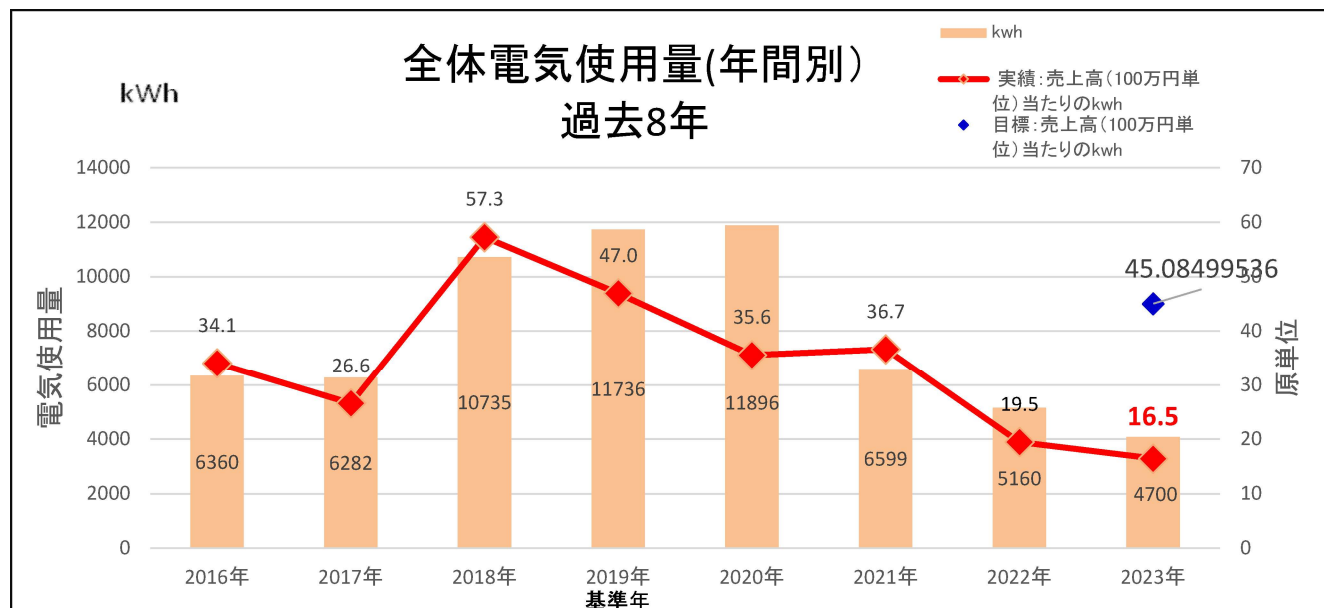
(2023年度目標 : 2019年度より4%減)

電気使用量 (kwh)	目標	実績	達成率 (%)
原単位(100万円単位)	45.1	16.5	◎

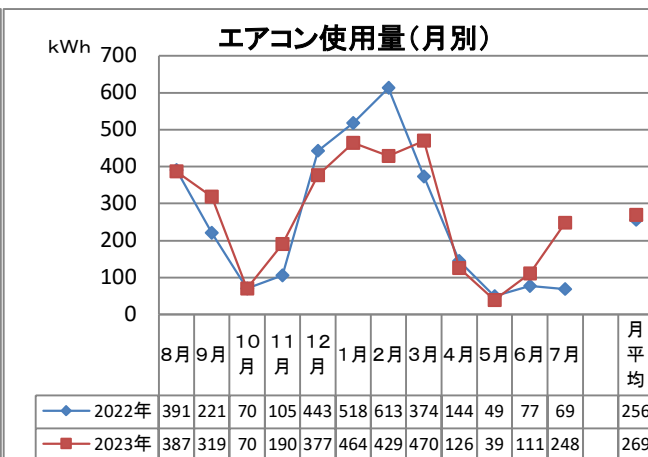
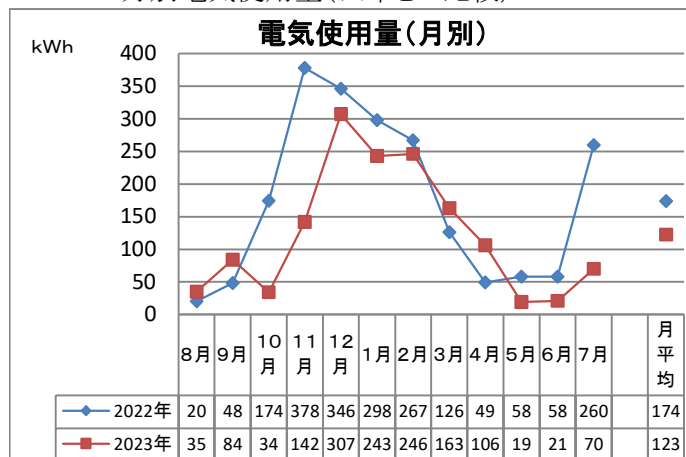


目標達成率	
90%以上	◎
80%以上	○
60%以上	△
60%以下	×

2023年度 主な取組内容
・ パソコンの省エネ電源の設定
・ 休憩時間の不要な場所の消灯
・ 節電表示
・ エアコンの設定温度の管理
・ 蓄電池の自動放電による深夜電力の削減
・ エアコンのフィルター清掃による運転効率UP
・ 電気設備の漏電状況及び、設置状況を確認・是正
・ タスクの効率化による残業の削減



月別電気使用量(去年との比較)



●2023年度の電気使用量の目標(売上当たりの原単位)は大幅に達成できました。太陽光発電や蓄電池による再生可能エネルギーを使用することや、照明スイッチのエリア分けで不必要な場所の消灯、休憩時間の不要な場所の消灯、PCの省エネ設定の推進が主要因と言えます。また、予定管理、在庫管理、安全管理などの管理システムを導入し、業務効率を上げて残業時間の削減に努めました。



エアコンの設定状況



センサースイッチ

ガソリン・軽油 使用量削減

(2023年度目標 : 2019年度より4%減)

ガソリン (ℓ)	目標	実績	達成率
原単位(100万円単位)	51.1	36.0	141.8% ◎

(2023年度目標 : 2019年度 4%減)

軽油 (ℓ)	目標	実績	達成率
原単位(100万円単位)	6.8	10.0	68.2% △



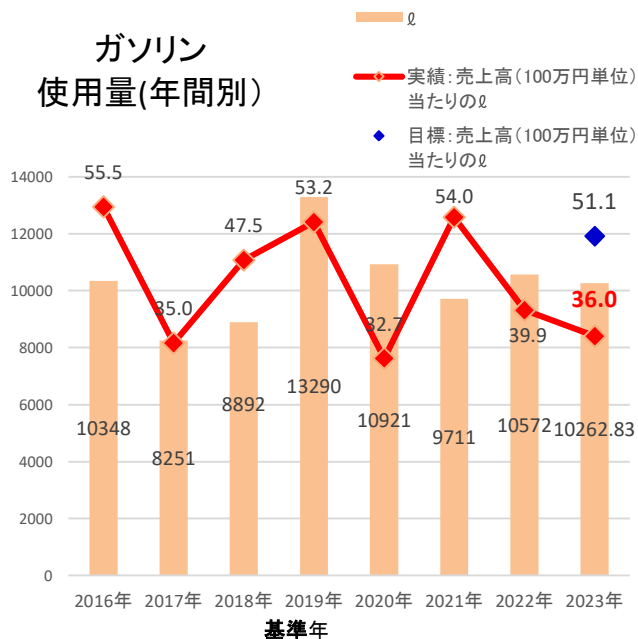
2023年度 主な取組内容

- ・エコ運転の徹底
 - ・重機、トラックのエコ運転の講習
 - ・作業車、重機、トラックの点検整備の徹底
 - ・適切な工程管理による燃料使用量削減
 - ・搬入経路、運搬経路の検討による燃料使用量削減
 - ・アイドリングの削減対策
- ※ハイエース・フォークリフト導入

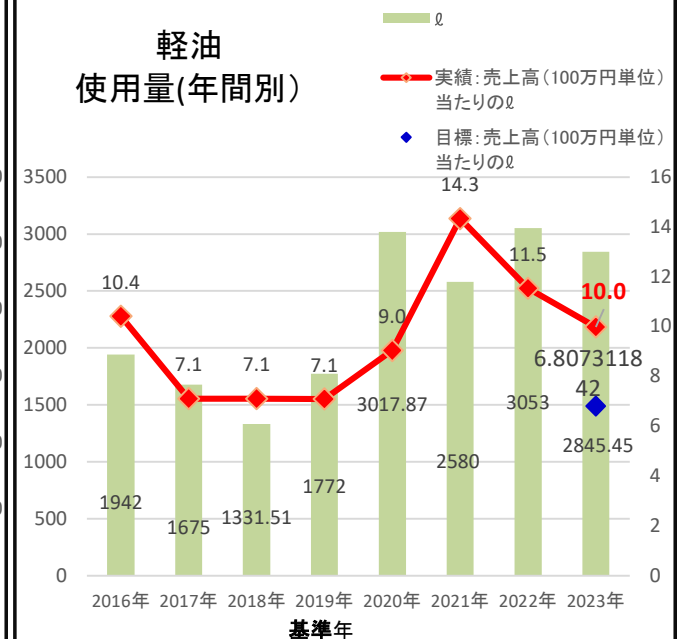
目標達成率

90%以上	◎
80%以上	○
60%以上	△
60%以下	×

ガソリン 使用量(年間別)



軽油 使用量(年間別)



●2023年度のガソリン・軽油使用量の目標(売上当たりの原単位)ですが、軽油の使用量が多くなり目標を達成出来ませんでした。今年度は軽油を使用する作業車の使用頻度、及び遠方の現場が多かったため、使用量が多くなりましたが、日ごろの作業計画や省エネ運用の効果が出にくい工事内容もあり思いのほか成果ができませんでした。行った対策として、エコ運転の講習や車両の点検などの燃費に繋がる取組を行いました。今後は、常に意識できるよう、掲示物や燃費ランキングなど全従業員の意識を高め、さらにエコ運転の推進に努めてまいります。



重機の点検状況

産業廃棄物排出量の削減

※現場数によって変わるため、リサイクル率にて目標設定

産業廃棄物 (t)	目標	実績	達成
リサイクル率	80%以上	100%	◎



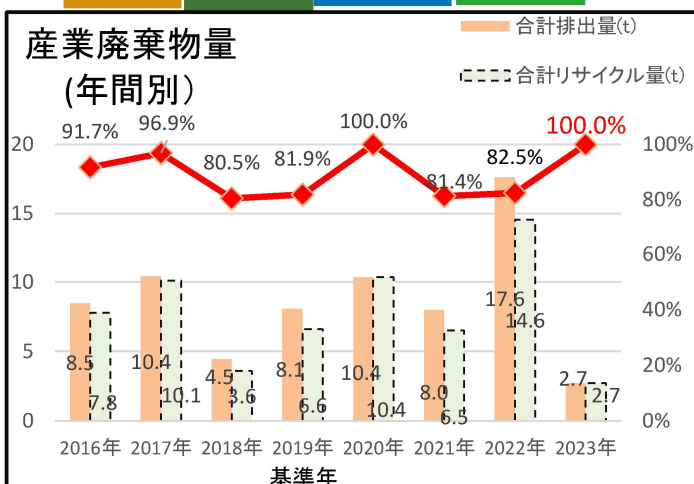
2023年度 主な取組内容

- ・マニフェストの確実な交付と適正管理
- ・再生資材の利用や、リサイクルの推進
- ・分別の徹底
- ・設計や計画の最適化によるムダの削減
- ・電線やケーブルの導体と絶縁体の分離による分別
- ・環境に配慮した電線(エコ電線)を利用

目標達成

90%以上	◎
80%以上	○
80%以下	×

産業廃棄物量 (年間別)



●2022年度の産業廃棄物排出量の削減の目標方針をリサイクル率の向上に舵を切りました。現場数によって排出量が変わってくるためです。分別の大きな取組として、電気工事で発生するくず電線の皮むきを行い、銅線と絶縁体を分離させる取り組みを行っております。今後は100%のリサイクル率を目指す取組を構築していきます。

一般廃棄物排出量の削減

(2023年度目標 : 2019年度 4%減)

一般廃棄物 (kg)	目標	実績	達成率
原単位(100万円単位)	0.52	0.44	◎



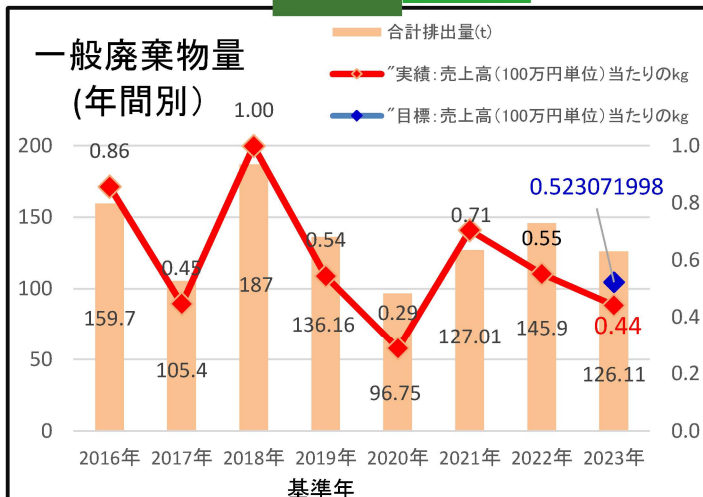
2023年度 主な取組内容

- ・印刷用紙の再利用(裏紙印刷)
- ・ファイルの再利用
- ・分別の徹底
- ・書類のデータ化によるペーパーレスの推進
- ・ペットボトルのキャップの収集
- ・エコバック持参によるビニール袋の削減

目標達成率

90%以上	◎
80%以上	○
60%以上	△
60%以下	×

一般廃棄物量 (年間別)



●2023年度の一般廃棄物排出量の削減の目標(売上当たりの原単位)は大幅に削減できました。裏紙の再利用の徹底や、共有サーバーを利用した書類のデータ化により印刷量が減りました。また、ペットボトルのキャップ集めや、エコバック使用の推進を行い、ゴミを削減いたしました。今後も継続して削減のための取組を行います。

水使用量の削減

(2023年度目標 : 2019年度 4%減)

水使用量 (m3)	目標	実績	達成率
原単位(100万円単位)	0.11	0.13	82.9%

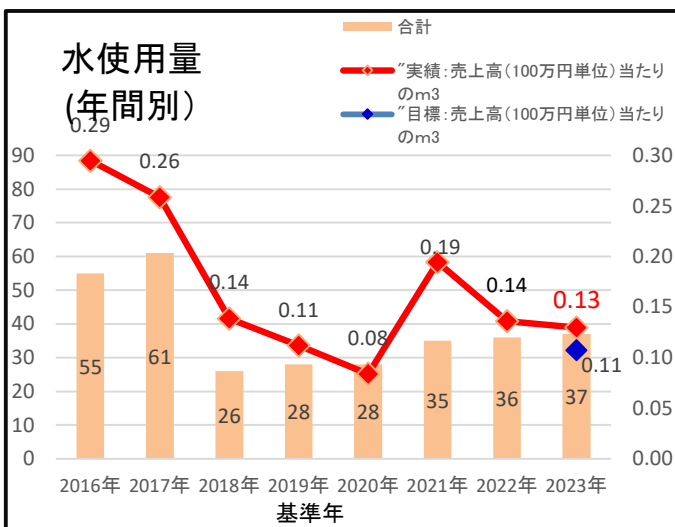


2023年度 主な取組内容

- ・節水の表示
- ・水道メーターでの漏水点検

90%以上	◎
80%以上	○
60%以上	△
60%以下	×

水使用量 (年間別)



●2023年度の水使用量の削減の目標(売上当たりの原単位)ですが、例年通りの使用量で、使い方や使用量の削減対策にもっと考案する必要がありますと感じました。今後は雨水タンクを設置して洗車や打ち水などに使用して水使用量を削減する取組を行います。



化学物質の管理

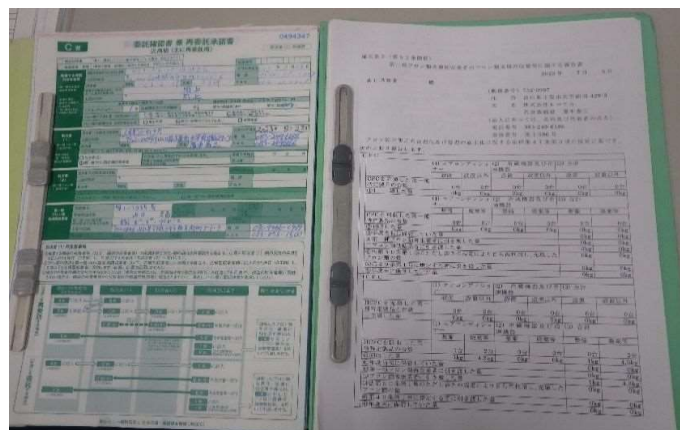
- ※ 化学物質の使用量は少ないため、化学物質に係る目標は掲げず、適正管理いたしました。
- ※ PRTR法対象であるフロンガスを含む空調機器設備の取り扱いは産業廃棄物として分別し、フロンガスはフロン類充填回収業者に委託し放出させませんでした。



2023年度 主な取組内容

- ・フロンガスの適正処理
- ・除草剤の不使用
- ・化学物質の使用した場合、報告することを周知

●化学物質の毎年使用量はほぼ無いため、適正管理としています。しかし、産業廃棄物としての取扱いがあるフロンガスはPRTR法対象であるため、再生、破壊処理のため、フロン類充填回収業者に委託し、フロンガスを放出させませんでした。今後も化学物質の適正管理や地球温暖化の原因となるフロンガスの放出を未然に防ぐ取組を継続的に行っていきます。



第一種フロン類充填回収量等に関する報告書

環境保全活動

●弊社は環境保全活動として毎年地域ボランティア活動に参加しています。主に海岸清掃を行っており流れ着いた様々な漂流物を見て、環境への対策の重要さを改めて実感いたしました。また、自社でできる道路の清掃や、エコキャップ集めなどに取り組んできました。今後はさらに範囲を広げ、社会貢献に努めます。

環境活動

・地域ボランティア(海岸のゴミ拾い)



令和6年7月29日実施



・エコキャップ集め

・キャップ蓋 集計中
エコキャップ推進協会に郵送
累計9,254個

・太陽光パネル設置

蓄電池の有効利用
2021年9月設置

2022年10月

・パネル清掃

2022年10月

蓄電池の運用設定変更



・事務所周辺の道路掃除

月に1回以上



・グリーン購入の推進



2023年度 主な取組内容

環境活動

- ・地域ボランティアの参加(地域実施の海岸清掃)
- ・自社でのボランティアの実施
(会社前の道路清掃、側溝の掃除)
- ・エコキャップ集め
- ・グリーン購入の推進
- ・蓄電池の運用方法の見直し

環境保全活動	目標	実績	達成率
活動回数	5	6	83%

次年度の環境経営目標および環境経営計画

次年度の環境経営目標は、4項の中期目標【2023年度】の通りとする。

次年度の環境経営計画(取組)は、エコアクション21も更新を含め14年目の年となるので、障害者雇用を含め無駄を省く為に有価物の再利用と5S活動を計画的に進める仕組みづくりに力を入れると共に、SDGSへの取組意識も高めていく。また積極的に地域への貢献度を増やしお客様へも安心と安全をお届けできる企業活動に尽力する。

項 目		環境経営目標	取組内容
CO2排出量の削減	電 気	2019年度比 5%減	・ パソコンの省エネ電源 ・ エアコンの設定温度の管理 ・ エアコンのフィルター清掃による運転効率UP ・ 電気設備の漏電状況及び、設置状況の確認・是正 ・ タスクの効率化による残業の削減 ・ 節電意識向上の教育
	ガソリン 軽油	2019年度比 5%減	・ 重機、トラックのエコ運転の講習 ・ 作業車、重機、トラックの点検整備の徹底 ・ 適切な工程管理による燃料使用量削減 ・ 搬入経路、運搬経路の検討による燃料使用量削減 ・ 燃費ランキングの掲示での意識改革
産業廃棄物		リサイクル率80%以上	・ 確実なマニフェストの交付と適正管理 ・ 再生資材の利用や、リサイクルの推進 ・ 分別の徹底 ・ 設計や計画の最適化によるムダの削減 ・ 環境に配慮した電線(エコ電線)を利用 ・ 電線やケーブルの導体と絶縁体の分離による分別
一般廃棄物		2019年度比 5%減	・ 印刷用紙の再利用(裏紙印刷) ・ ファイルの再利用 ・ 分別の徹底 ・ 書類のデータ化によるペーパーレスの推進 ・ ペットボトルのキャップの収集 ・ エコバック持参によるビニール袋の削減 ・ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の推進
水使用量		2019年度比 5%減	・ 節水の表示による意識向上 ・ 水道メーターでの漏水点検 ・ 雨水タンク設置による雨水利用
化学物質		適正管理	・ 化学物質の使用時の連絡フローの作成 ・ フロンガスの厳格な処理
環境保全活動		年6回以上	・ 地域ボランティアの参加(地域実施の海岸清掃) ・ 自社でのボランティアの実施(会社前の道路清掃、側溝の掃除) ・ エコキャップ集め ・ グリーン購入の推進

環境関連法規等の遵守状及び違反、訴訟等の有無

適用法規	適用事項	遵守状況
廃棄物処理法	・ 一般廃棄物及び産業廃棄物の保管管理	適
	・ マニフェストの交付、回収、保管の適正処理	適
フロン排出抑制法	・ 第一種特定フロン類の放出防止措置	適
	・ フロン類回収業者への適正な引渡	適
家電リサイクル法	・ 指定家電の収集、適正処分	適
浄化槽法	・ 3ヶ月に一度の保守点検及び清掃	適
	・ 1年に一度の指定検査機関による水質検査	適
高圧ガス保安法	・ 高圧ガスの運搬時、車両に表示取付	適
道路交通法	・ 車両総重量 により各運転免許証の有無の確認	適
消防法	・ 消化器の点検、届出の確認	適
グリーン購入法	・ グリーン商品の購入促進	適

・環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価及び見直しの日時		令和6年9月2日(月) 13:00～15:00			
評価者		代表取締役 廣中 泰三			
評価及び見直しに参加した人		吉村 享祐 (環境管理責任者) (総務責任者) 廣中 一美 (EA21事務局)			
前回の指摘事項の取り組み	環境経営方針	前回の指示	SDGS(持続可能な開発目標)を含め長期的な方向性とする。	取組の結果	SDGSの目標を各削減項目に紐づけを行い、長期的な方向性を設定した。
	環境経営目標 環境経営計画	前回の指示	コロナ過でもできることを考慮して活動を進める。	取組の結果	障がい者雇用の一環として電線の皮むきの事業をより一層展開し、電線の銅線とプラスチック製の絶縁体の分別を行う。
	環境関連法規のとりまとめ	前回の指示	環境関連法規の遵守と地域の環境を守り共存する。	取組の結果	マニフェストの不備やフロンガスの放出、近隣からの苦情はなかった。
	実施体制	前回の指示	社員全員で協力して日頃から無駄を減らし、エコ活動に取り組む。	取組の結果	日頃から社員同士で呼びかけあって無駄を減らせた。
評価者の評価と指示	環境経営方針	環境経営方針を全従業員に再周知し、取組を強化すること。			
	環境経営目標 環境経営計画	安全や利益につながる事も考慮して目標設定や計画を立てる。			
	環境関連法規のとりまとめ	環境関連法規の遵守と地域の環境を守り共存する。			
	実施体制	情報共有アプリで情報を共有し実行する。			
提出した資料		(1) 環境経営方針 (2) 「環境への負荷の自己チェック」の結果 (3) 「環境への取組の自己チェック」の結果 (4) 環境関連法規のとりまとめ (5) 環境経営目標 (6) 環境経営計画 (7) 実施体制 (8) 外部からの苦情等の受付結果 (9) 緊急事態の想定結果とその対応策 (10) 環境上の緊急事態の訓練結果 (11) 環境経営目標の達成及び環境経営計画の実施状況その結果 (12) 環境関連法規等の順守状況のチェック結果 (13) 問題点の是正処置及び予防処置結果 (14) 各種チェックシート			
評価者の総合評価		今期は、前期と比べて全体的に環境への影響を軽減、それに加えてエネルギーの使用効率も年々上がってきている。日頃から従業員同士で意識しているのが成果として現れてきたのではないだろうか。しかし、その一方で課題も見えてきた。主に、タスク効率化による残業の削減、使用するガソリン削減の為の作業計画などだ。従業員1人1人に目を向け、連携し、環境目標を徹底して行っていく必要がある。また、地域ボランティアの積極的な参加による地域環境への貢献など、今後も環境に配慮しながら会社が成長できる体制をしっかりと作っていきたい。			